



さくらんぼだよ

11月号

平成30年11月1日

社会福祉法人 北杜福祉会 西多賀チェリー保育園

みんなで繋がる心の触れあい！

9月末日に行った三神峯公園での“のはらまつり”。今年は異常気象と言われる中で、天気予報が何度も変わり天気がとても心配されましたが、子ども達はもちろんの事、皆さんの願いが通じたようで、秋晴れとまではいかなかったものの、雨雲を吹き飛ばすほどの元気な声におされながら、無事に行うことができ、職員一同感謝の気持ちでいっぱいです。また、実行委員の方々には朝早くから道具運びや会場準備のお手伝いをしていただき本当にありがとうございました。皆さんにご協力していただき作り上げた連凧や縄跳びの縄、そして荒馬などに、のはらまつりの練習のときから、それぞれのクラスで喜んで触れただけに、本番では、元気いっぱい走ったり跳んだり踊ったりしながら楽しんでいた子どもたちでした。その姿に、皆さんも成長を感じられたのではないかと思います。

親子の触れあい、絆、そして親同士、職員と保護者の方とのつながり、いろんな思いの中でテーマも“つながる”で行っている“のはらまつり”ですが、普段、なかなか顔を合わせる機会も少ない保護者の方たちも、皆さんとお話しができたりする中で、つながりを感じてもらえたのではないかと思います。これを機に、園生活が、子どもたち、保護者の方たちにとって更に有意義なものになることを願っています。

秋も深まり、園庭の甘柿はカラスに狙われ、悔しい思いもありつつ、代わる代わる柿を手にしては“かわむいてくださ〜い！”と満面の笑みで言う子どもたち。“小さい子からだよね〜。”と順番を待つ4歳児、5歳児の子どもたちの姿から、社会のルールが何気ない日常の事から身についてきていることを感じ、うれしく思っています。ほっぺを膨らませ、いっぱいの笑顔で食べつくした子ども達。渋柿の方は、スイミー組のおにいさん、おねえさんたちが収穫し、渋抜きをしてくれていますが、いつ食べられるかな〜と心まちにしているようです。

11月17日(土)はおはなしの広場まつり&バザーです。楽しい曲に合わせて動くボードビル人形劇、昔話のおはなし会やわらべうた遊び。人と触れあいながら、絵本を読んでもらうこと、お話を聞くことの心地よさや楽しさを皆で共有し感じあいながら、子育てに活かして頂ければと思います。保護者の皆様、おじいちゃん、おばあちゃん、そして地域の皆様、どうぞお誘いの上おはなしの広場まつりにおいでください。

2018・11・1 <園長 中館 和子>

お知らせ



<歯科健診について>

11月15日(木)歯科健診があります。前回まで保護者の方同伴で健診を行ってきましたが、園医の先生から、歯磨き指導を兼ねながら、時間をかけて健診を行ってみたいとのご提案がありました。今回は、担任と子ども達で健診を受けたいと思います。保護者の方には、お迎えの時にその結果をお知らせしたいと思いますので、ご了承ください。

<おはなしの広場まつり&バザー>



日時	11月17日(土)	9:00~13:00
第1部	おはなしの広場	9:00~ 9:50
第2部	講演会	10:00~11:00
第3部	バザー	11:15~13:00

おはなしの広場まつりでは、昔話のおはなし会や、人形劇など楽しい児童文化に触れることができます。また、バザーでは、手作り品をはじめ、日用品、野菜などを販売する予定です。

講演会では、前園長の畠山真咲先生による「絵本が育む子どもの心」と題して、絵本の楽しさをお話ししていただきます。皆さんお誘いの上、是非ご参加下さい。

おねがい

<夕方のお迎えについて>

迎えの時間が夕方6時に間に合っても、そこからの時間が長い方が見受けられます。駐車場もかなり混雑しますので、なるべく、15分以内には帰られるよう、ご協力お願いします。

行事予定

11月		
日	曜日	行事
6	火	発育測定
8	木	避難訓練(総合訓練)
15	木	歯科健診・内科健診
17	土	おはなしの広場まつり
20	火	誕生会
22	木	防犯訓練
27	火	焼き芋会
30	金	おはなしの広場まつり反省会

12月		
日	曜日	行事
4	火	発育測定
5	水	避難訓練
12	水	発表会総練習
15	土	発表会
18	火	誕生会
20	木	もちつき会
28	金	御用納め





来年度より幼保連携型認定こども園への移行にあたり、幼稚園部分のお子さんのお預かりができるということで、“教育”という言葉が入ってきたり、現代は教育＝勉強という意識が定着しているので、特別に何かを設定して教育が行われるのではと思われがちですが、乳幼児期は“お勉強”をする時期ではなく、むしろ、この時期は、就学してからの“学びに対する姿勢”の土台作りの時期と思っています。畑で言えば、土壌づくり、深く耕された土に種を蒔くからこそ苗が育ち、やがて花が咲き実がなる、子ども達とて同じ、親からの愛情という種を心に深く植えてもらうからこそ、生活や遊びの中で様々な事に出会っても力強く生きていく力が育っていくのではないかと思います。

西多賀チェリー保育園の子ども達は、外が大好き。よちよち歩けるようになると、とにかくあっちこっち行ったり来たり。そして上のクラスの子も達は、小さいクラスの子も達がいると、ぶつかったりしないように気を付けながら、いろんなルール遊びや、虫探し、そして草花を摘んだり、木の枝で遊んだり、子どもならではの発想で走りまわって遊んでいます。また、日常の生活の中では、食事、睡眠、排泄、そして、身の回りの事が自分でできるようになることも大事。頑張って一人で何でもやってみようとする時期、できた時の喜びなど、その時期時期において子どもが感じる気持ちに共感し、認めたり励ましたりすることが、子ども達の頑張りに繋がっていくと思っています。いろんなことができてくると、ついできることを当たり前にしてしまいがちですが、どんなに些細な事であっても、共感してもらえるということは、子ども達にとってはとても心強いもの。

0歳から就学前までの今の時期、何かができるできないということではなく、たくさんの人との触れ合いの中で、そして、おとうさん、おかあさんの深い愛情と温かな見守りの中で、目には見えませんが確実に育ってきている人としての心、“やさしさ”や、“たくましさ”を信じ、大切にしていきたいと思っています。



母と子の
絵本 棚



「どんぐりどんぐり」

出版社：福音館 ふりや なな さく
リスのおかあさんが子ども達のためにどんぐりを探しに行くお話です。一つ、二つ・・・四つ集めた時おかあさんはつまづいて転んでしまい、どんぐりはコロコロ・・・もう一度集めておうちに帰っていただきます～す！！。なんとも心の温まる絵本です。



「ぼぼあちゃんのやきいもたいかい」

出版社：福音館 さとう きわこ さく
落ち葉たきのついでに、焼き芋をつくることから、いろいろなものを焼いて楽しむ子ども達。園の焼き芋会も近いことから、焼き芋会への期待も大きくなるような絵本です。

ねえ、ねえおかあさん！読んで、読んで

西多賀チェリー保育園は、絵本を子ども達に読んであげることとても大事にしています。子どもにとって、絵本を読んでもらうということは親の“愛”を伝えることである、と言われていています。同時にやりたがり屋で、知りたがり屋、そして、好奇心がいっぱい子ども達にとっては現実の中では体験できない事をお話の世界に入り込むことでドキドキ、ハラハラ、ワクワクしながら楽しむ事ができます。だからこそ、子ども達は絵本が大好きなのです。文字が読めるようになったからといって一人で読ませては、文字を追うことに一生懸命になり、お話しそのものを楽しむことができなくなってしまう事にもなりかねません。絵本は読んでもらってこそ、楽しいもの。おとうさん、おかあさんの膝の上で温かい優しい言葉でゆったり読んであげてください。日々時間に追われる中、ゆったりする時間が難しい場合もありますが、せめて、夜寝る前の僅かな時間子どもと一緒に、絵本を楽しんでください

わらべうたであそぼう

おてぶしてぶし

おてぶしてぶしてぶしのなかに
へびのなまやけ かえるのさしみ
いっちょばこやるから
まるめておくれ い～や
(おおあたり) (おおはずれ)



遊び方
両手を合わせた中に小さいキャンディーなどを隠し持ち、上下にふって歌います。歌い終わったら「ど～っちだ！」といい、当てっこします。